

CoDAの取組をご紹介します！



デジタルサービスの企画

市の地域課題や新しい価値の創出を目指し、市内外の事業者・団体が様々なデジタルサービスの企画開発を行っています。

ヘルスケア分野では、様々なデータを組み合わせ、一人ひとりに合ったトレーニングを考案する実証事業を実施しています。また、防災分野では、浸水センサをガードレール等に設置し、災害時の市内の浸水状況をリアルタイムに把握する実証事業を実施する予定です。

今後も様々な分野でのデジタルサービスの実証や導入を行ってまいります。



CoDA公式キャラクター「CoDAちゃん」

詳しくは、次ページをご参照ください。

記事も配信しており、親しみを感じられる情報発信も行っています。



地域情報の発信

市内の様々な情報を、自分の興味や関心に合わせてメールやLINEで受け取れるサービス「つなごうありだ」を運用しています。これまでは欲しい情報は自分で探す必要がありました。このサービスでは事前に心のある分野を登録するだけで、必要な情報が自動的に届く仕組みです。これもデジタル技術を活用し実現できたものです。

また、市内のお店や人物への取材記事も配信しており、親しみを感じられる情報発信も行っています。



デジタル技術で有田市の未来をともに作る —スマートシティの実現に向けて—

市では、地域課題の解決と暮らしやすいまちづくりを目指し、デジタル技術を活用したスマートシティの取組を進めています。令和6年1月には、市内外の事業者・団体で構成された「有田市スマートシティ推進協議会」を設立。今回はその取組をご紹介します。

スマートシティって何？

スマートシティは、スマホなどのデジタル技術を使って、みんながもっと快適に暮らせるように、まちをより良くしていく取組みです。

有田市スマートシティ推進協議会って？

有田市スマートシティ推進協議会（通称 CoDA）は、市内外の様々な企業・団体が連携し、スマートシティに関する企画・立案や実証実験の実施及び市民の方々のデジタル活用支援を行う団体です。

市民のみならず事業者

体です。現在は13事業者の方々から、市の地域課題の解決や未来のまちづくりに取り組んでいます。市は本協議会と協定を締結し、課題共有や活動支援等を行い、官民連携で取り組んでいます。



ITの理解度向上



こどもたちのデジタル活用促進と、デジタル技術の活用が苦手な方々への支援を目的として、三世代がデジタルに触れるイベント「三世代デジタル交流DAY」を市内の各公民館にて開催しています。

また、初めてでも簡単にできる親子向けプログラミング教室と大學生の方々が教えてくれる初心者向けスマホ教室を同時に開催しています。

今年度も定期的に開催していますので、ぜひご参加ください！

●教室の開催

「三世代デジタル交流DAY」
日時 9月27日(土) 10時～11時30分
場所 中央地区公民館
持ち物 プログラミング教室に参加される方はパソコン（なくてもOK！）
スマホ教室に参加される方はスマートフォン

対象者 プログラミング教室は小学生以上の親子
スマホ教室はだれでもOK！
※都合によって予定を変更する場合がございます。

申込みについては、改めてつなごうありだや公民館にて周知いたします。



●参加された方の声

「プログラミングは難しいイメージがあったけど、実際にやってみると簡単で楽しかった。」
「次はゲームをつくるのに挑戦したい。」